

## 瀬の浦における風景を活かしたまちづくりの実現へ向けて

### その2 風景を主題とした空間の読解

正会員○種田 亜矢\*

瀬、風景、歴史的港町、眺望、空間の読解、生活空間

同 阿部 大輔\*\* 同 川西 崇行\*  
同 安藤 真理\*\* 同 田中 大朗\*\*\*  
同 池田 晃一\*\*\* 同 中島 直人\*\*  
同 今村 洋一\*\* 同 宮本 裕太\*\*\*

#### 1. はじめに

本稿では、実際に瀬のまちにおいて、どのような空間となっているのか、どのような把握の仕方ができるのか、という空間の読解を行う。

対象としている瀬は、先稿で詳述したように、歴史があり生活の匂いを感じさせる歴史的港町である。誰もが美しいと感じる海と山などの大きな自然と、連続して暮らしが営まれてきた歴史的町並みがある。こうした美しい風景は、当然のこととして住民の方に受け止められている。そこで、単に美しいというだけでなく、様々な捉え方を提案することで、風景の価値を省みる契機とし、まちづくりが円滑に行われることを目的としている。

#### 2. まち空間の読解方法

まち空間を読解する方法として、二つの切り口を考えた。ひとつは地区であり、ひとつはテーマである。

まちに関わっていくときに、地区を詳細に歩く、という手順は欠かせない。各地区における特徴や課題を挙げていくなかで、いくつかの地区に共通するものや、あるいは逆に特定の地区にのみ固有な問題が現れてくる。そうした過程において、テーマを設定した。

地区とテーマは同じまちを異なった切り口からアプローチするための設定である。二つの切り口を往復し、いくつかの地区やいくつかのテーマ間で、議論を進めていくうちに、漠然としていた美しい風景を、より意識的に把握することができよう。

#### 3. 地区別のアプローチ

次に地区別のアプローチについて。

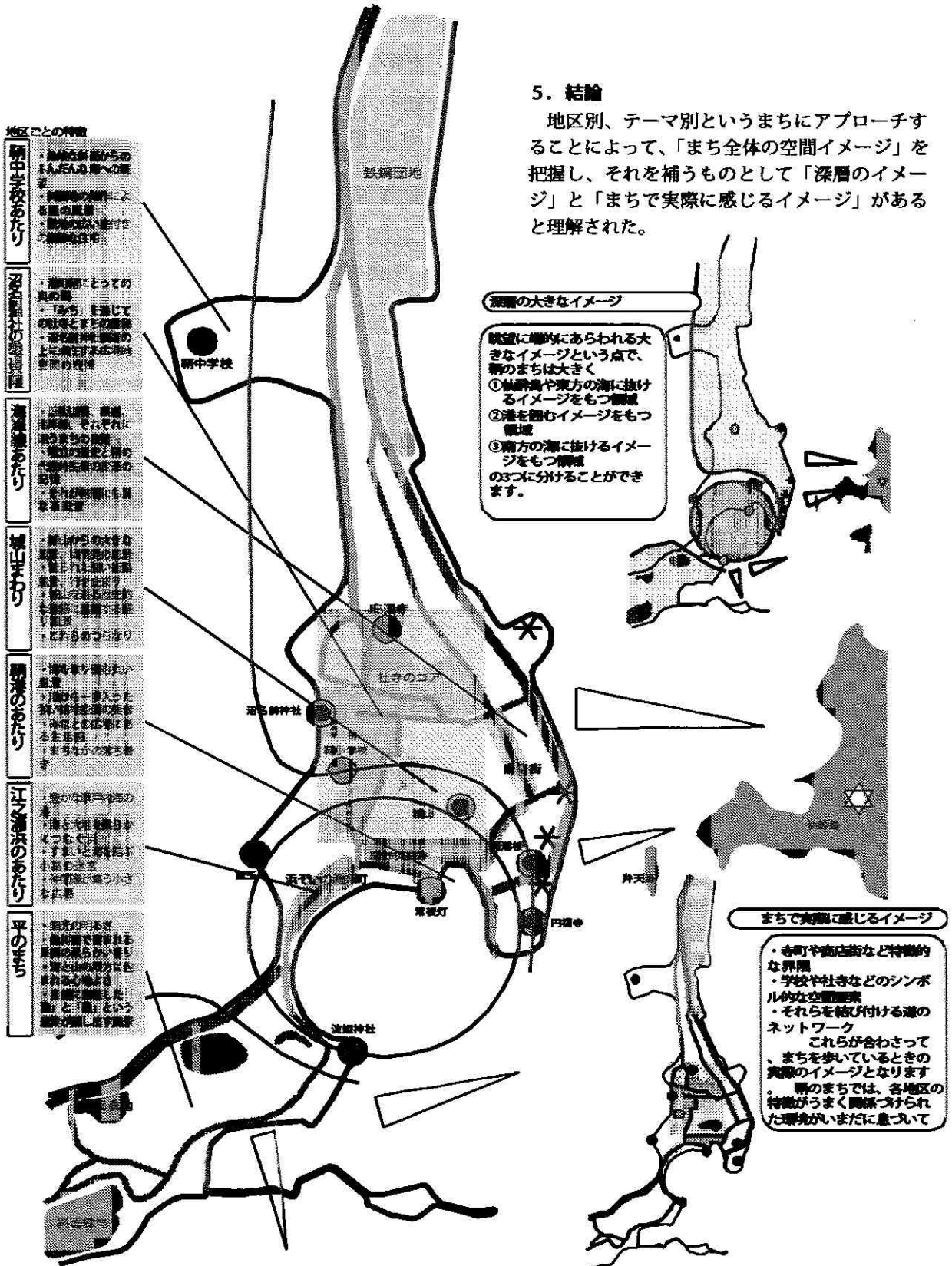
南北に長く広がる瀬だが、7つの地区を選定し、各地区における地域資源である特徴と課題を整理した(次ページ参照)。選定は、まち全体を何度も歩いた後に、特徴の強いまとまりとして捉えられるところであり、中心部のみに偏らないという視点に立っている。この7地区がすべてを覆っているわけではない。

#### 4. テーマ別アプローチ

以上の7つの地区の特徴と課題から、瀬のまちにとって重要と考えられるテーマを以下の17挙げた。これらのテーマに着目して、まちを歩けば、気づかなかった個性を発見したり、自分が大切にしてきた風景に他人も共感していたのだ、ということを感じたりするのではない。新たなテーマが住民の方によって今後付加されていくことは、まちの読解方法が豊かになっていくことであり、住民からのまちづくりの第一歩であると考えられる。

眺望	ダイナミックな自然景観と、そこに人々が作り上げてきたまちの景観資源が変化に富んだ眺望を創り出す
まちなか風景	三叉路、鉄線など面白い道のかたちと多様な景観資源がまちなか風景を一歩ごとに変化させ、気分を切り替える
みちのタイプ	幅や歩み方によって、瀬のみちは「道路」「通り」「路地」という3つのタイプに分けられる
まちかど	性格の異なるまちが出会うまちかどはそれぞれに表情をもち、特徴的な場所となっている
たてもの	様々な時代の建物が混在し、まちの歴史を感じさせるが、現代の建物の中には違和感を感じるものもある
海際	海際には様々な活動、機能があり、その空間的な価値ともなまって場所によって多様なイメージを持つ
商店	老舗からコンビニまで、まちに溶け込んだ小さなお店は、バラエティに富み賑わいを持っている
たまり場	井戸端、港など人が自然と集まってくるような場所が多く、豊かなコミュニケーションが交わされている
精神的環境	まちを囲む大きな社寺から日常生活の中にある小さな祠まで、精神的な文化がまちの中に息づいている
跡	瀬のまちには特徴的な「跡」が点在し、その場の記憶を持って独特の存在感を醸成している
駐車場	自動車社会が、まちなかに様々な形で駐車場を生みだし、それらは急速にまちを変化させている
うつろい	瀬の干満、路地に差し込む日差しなど、時のうつろい、四季をたおやかに感じさせる様々な仕掛けがある
素材	まちを形作るそのまち独特の素材は、その質感、色、デザインなどによってそれぞれに異なる表情を持つ
かたち	丸まっているもの、伸びているもの、瀬にある様々な形は精神に形としても様々な印象を生んでいる
よわい美	まちを作る様々なものに思い馳れ月をかけて磨き出されてきた美しさが、まちを淡く照らしている
おと	まちの静けさ、静かだからこそ心に響く音、それらは風景と共に、瀬の印象をつくる大切な要素となっている
いきもの	自然豊かな瀬のまちでは、様々な海辺の動物と出会い、犬や猫も瀬の景色の中でのんびりして見える

図1 テーマ一覧



\*東京大学工学部都市工学科助手  
\*\* // 博士課程  
\*\*\* // 修士課程